

分野	専門分野	科目名 単位（時間）	小児看護学概論 1単位（15時間）	授業 形態	講義	開講 時期	1年 後期
講師名 所属	山下 智美 活水女子大学看護学部 准教授						
授業概要	小児看護の対象である小児とその家族を理解し、小児看護の目的・役割を学ぶ。対象の小児を理解するために、小児の生理的特徴と小児各段階の成長発達について学ぶ。また、小児や家族を取り巻く社会の変化や小児保健の動向、小児に関する法律や政策についても学ぶ。						
科目目標	1. 小児の生理的特徴と小児各段階の成長・発達について理解できる 2. 小児と家族の特性およびその環境を理解し、小児保健の動向や健康な小児の養育について理解できる。また、小児看護の目的、役割、現状を理解できる						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 医学書院						
参考文献	1. 小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助 南江堂 2. 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院 3. 国民衛生の動向 厚生統計協会						
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照						
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度・出席状況
学修に向けたメッセージ	小児看護学概論では、地域で生活する健康な小児の成長・発達を新生児から思春期・青年期まで順を追って学んでいきます。学生自身の体験を想起しながら学習することで理解が深まると考えます。また、小児と家族を取り巻く急速な社会の変化に伴う小児観の変化、小児をめぐる法律と政策、小児の人権擁護、小児看護の課題については、様々な視点から考えを深めましょう。						
授業計画							
回数	講義内容			教授・学習方法		担当講師	
1	1. 小児看護の特徴と理念 1) 小児看護とは 2) 小児と家族の諸統計 3) 小児看護の変遷 4) 社会情勢に伴う小児観の変化			講義		活水女子大学 准教授 山下 智美	
2	2. 小児の成長・発達 1) 成長・発達とは 2) 成長発達の進み方 3) 成長・発達に影響を与える要因 4) 成長・発達の評価 3. 新生児の成長・発達 1) 形態的特徴 2) 身体生理の特徴 3) 養育及び看護			講義		活水女子大学 准教授 山下 智美	

3	<p>4. 乳児の成長・発達</p> <p>1) 形態的特徴 2) 身体生理の特徴 3) 感覚機能 4) 運動機能 5) 知的機能 6) コミュニケーション機能 7) 情緒・社会的機能 8) 養育及び看護</p> <p>5. 幼児の成長・発達</p> <p>1) 形態的特徴 2) 身体生理の特徴 3) 感覚機能 4) 運動機能 5) 知的機能 6) コミュニケーション機能 7) 情緒・社会的機能 8) 日常生活（基本的生活習慣の獲得） 9) 養育及び看護</p>	講義	活水女子大学 准教授 山下 智美
4	<p>6. 学童期の成長・発達</p> <p>1) 形態的特徴 2) 身体生理の特徴 3) 感覚機能 4) 運動機能 5) 情緒・知的機能 6) 日常生活 7) 社会的機能 8) 不適応行動・症状 9) 子どもを取りまく諸環境 10) 養育及び看護</p> <p>7. 思春期・青年期の成長・発達</p> <p>1) 形態的特徴 2) 生理的特徴 3) 情緒・知的・社会的特徴 4) 生活の特徴 5) 子どもを取りまく諸問題（心・飲酒・喫煙・性・ 非行・薬物・事故・外傷）</p>	講義	活水女子大学 准教授 山下 智美
5	<p>8. 小児と家族</p> <p>1) 子どもにとっての家族とは 2) 家族アセスメント 3) ヤングケアラー</p> <p>9. 小児と家族を取り巻く社会</p> <p>1) 学校保健 2) 予防接種 3) 病児教育 4) 小児を取り巻く環境と対策</p>	講義	活水女子大学 准教授 山下 智美
6	<p>9. 小児と家族を取り巻く社会</p> <p>5) 小児をめぐる法律と政策</p> <p>(1) 児童福祉 ① 児童福祉の変遷 ② 虐待防止 ③ 子どもの貧困への対策</p> <p>(2) 母子保健 ① 母子保健の歴史 ② 現在の母子保健 (3) 医療費の支援</p>	講義	活水女子大学 准教授 山下 智美
7	<p>10. 小児の人権</p> <p>1) 子どもの権利 2) 小児看護と倫理的配慮</p>	講義	活水女子大学 准教授

	<p>3) 生命倫理と小児看護</p> <p>11. 小児看護の課題</p> <p>1) 疾病構造の変化と小児看護</p> <p>2) 社会の変化と小児看護</p> <p>(1) 子どもの貧困</p> <p>(2) 生きづらさ (いじめ、虐待など)</p> <p>3) 小児看護の専門分化</p>		山下 智美
8	終講試験	試験 (評価)	<p>単位認定者</p> <p>活水女子大学</p> <p>准教授</p> <p>山下 智美</p>